

## 公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	リエゾン浅草橋		
○保護者評価実施期間	2025年 10月 16日	~	2025年 10月 31日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	54	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	2025年 10月 16日	~	2025年 10月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 4
○訪問先施設評価実施期間	年 月 日	~	年 月 日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数)	(回答数)	
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 16日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・保護者様との信頼関係が強い。	・フィードバックのお時間以外にも保護者様と積極的にお話しする時間を設けている。	・レッスンメニュー改善のためのアンケート等を実施し、より保護者様のご意見を反映できるレッスンを組み立てていく。
2	・スタッフそれぞれで違う強みを持ったレッスンが提供出来る。	・運動面、コミュニケーション面、保育(教育)それぞれに強みを持つスタッフが在籍しており、各分野の専門性を生かしたレッスンを提供している。	・スタッフ同士でお子様一人一人に対する最終目標を共通で認識し、それぞれの得意とするレッスンを通してお子様の成長のお手伝いが出来るようにしていく。
3	・スタッフとお子様との適度な距離感。	・お子様にとっては「先生」でもあり、時には気の休まる存在となるよう、話し方や接し方は固くなりすぎずレッスン時間外でも積極的に他愛もない会話をするよう心がけている。	・レッスンの中で、他者に迷惑がかからってしまう行動や、危険だった行動に関しては厳しくお伝えする事は徹底してを行い、「先生」と「レッスン」に通って下さっているお子様」としての関係性にメリハリを付ける事が出来るよう心がけていく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・発語を促すアプローチの弱さ。	・少人数でのレッスンを提供している為、小集団でのコミュニケーションは行っているものの、全体制御が多くスタッフがお子様に対して1:1で発語に関するサポートをする場面は少なかった。	・点呼の時間を必ず設けお返事の練習、色の名前をスタッフの後に続いて復唱するなどして積極的に声を出す練習を行える時間を増やすとともに、スタッフがお子様とコミュニケーションをより積極的に取っていく。
2	・利用者様の他事業所や園での様子、習い事の様子等が把握できていない。	・年度始め、または初回レッスンの際に【他事業所】や【習い事】に通所しているかどうかのアンケートを行うが、年度内の調査はその一度きりな為、保護者様からお伝え頂いた場合のみでしかその後の様子を把握できていない。	・年度始めのアンケートは引き続き行いつつ、新しく何かを始められた際にもこちらが把握できるような仕組みを教室独自で設置する。 その情報をもとにレッスンに繋げていける点をスタッフ間で共有していく。
3			